

受付番号	2024-2		
許可番号	大歯医倫 第 111324 号		
研究課題名	顎関節 CT 画像と実態の形態比較の検証		
研究責任者	上村 守	申請者	杉元 敬弘
研究終了日	2026 年 3 月 31 日		
所 属	解剖学講座	所 属	解剖学講座
職 名	主任教授	職 名	専攻生

申請の概要

日常の歯科臨床において、コーンビーム CT（以下、CBCT）から得られる画像と実際の骨形態との違いが散見される。この違いは、口腔内に存在する特有の金属によるアーチファクトや歯槽骨の複雑な形態などの特異性等に起因するものと考えられる。一方、顎関節部のエックス線や MRI による画像診断では前述のようなアーチファクトは観察されず、形態的に単純である。そのため CBCT による顎関節診断は MRI の画像診断法と比較して空間分解能が高く、形態や位置の診断に有用と推測される。しかしながら、CBCT 画像の精度と信頼性についての実際の評価がまだ不十分であるため（ご遺体の←公開用では削除）下顎頭を用いた CBCT 画像と肉眼解剖学的手法で剖出した下顎頭の形態情報をステレオリソグラフィ（光造形法：以下、STL）によるデータ化し、比較検証する。本研究により CBCT による顎関節診断の信頼性が向上すると期待される。